

今月は“知ってみよう”

地域の支え合いが大事！「生活支援コーディネーター」と「協議体」

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくためには、困ったときに地域の住民同士で助け合える関係づくりを進めていくことが大切です。

今回は、地域の皆さんが主体となって助け合い、支え合う活動をサポート・推進するために設置されている「生活支援コーディネーター」と「協議体」についてご紹介します！

生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員)とは？

生活支援コーディネーターは、地域の困りごとを把握し、地域で高齢者を支えていくために必要なサービスの創出や担い手の育成、ネットワーク構築を行います。

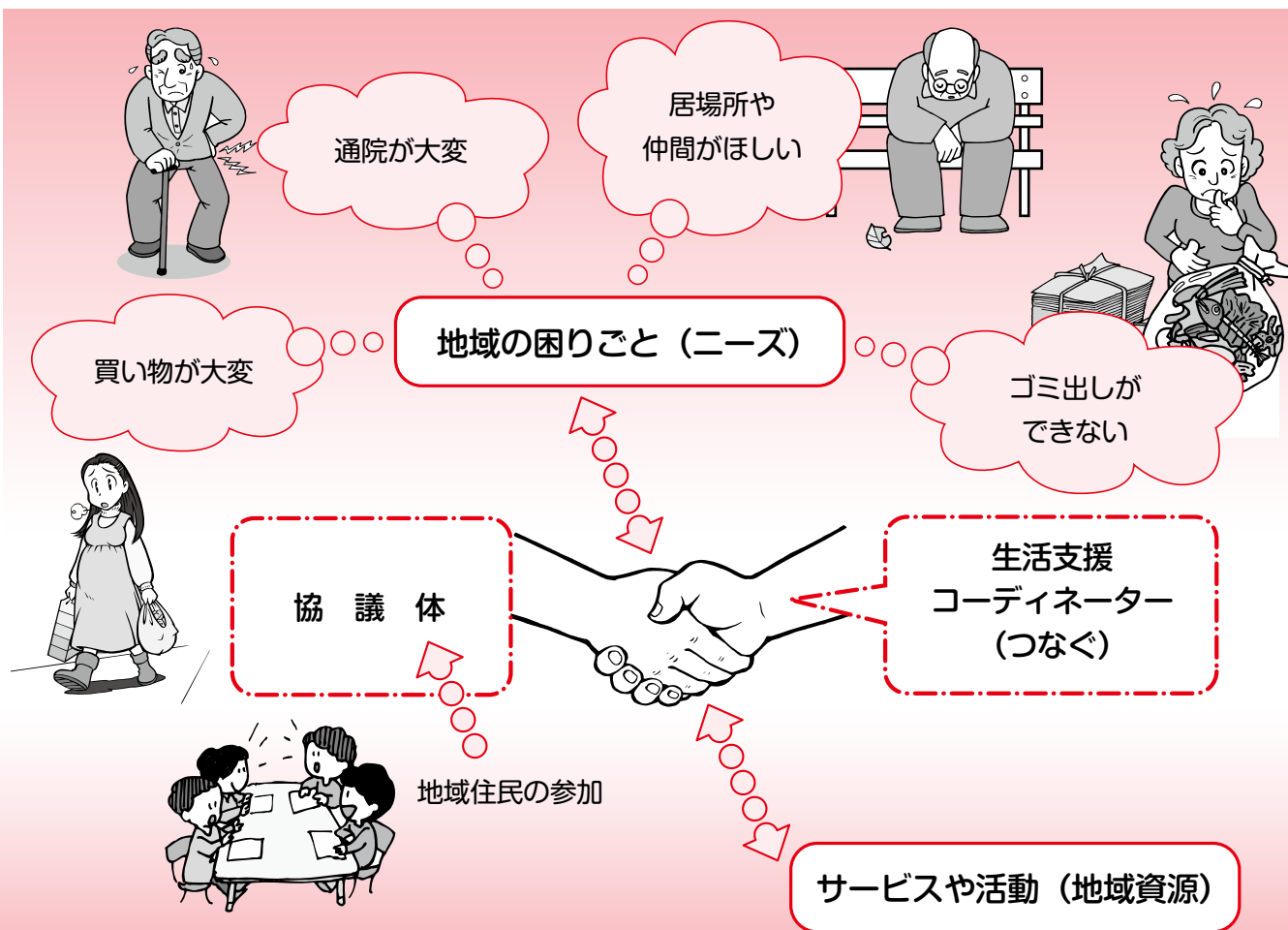
下野市には、市全体として1名、石橋・国分寺・南河内地区にそれぞれ2名ずつ、計7名の生活支援コーディネーターが配置されています。

協議体(地域支え合い推進会議)とは？

地域で暮らしているからこそ気づく、生活上の困りごととその解決方法などを話し合う場です。また、地域資源(地域にあるサービスや活動)について情報を共有したり、「こんなものがあったら助かるな、あったらいいな」という意見を出し合ったりして、地域の課題の解決を目指します。

協議体には、生活支援コーディネーターや地域住民、自治会長、民生委員、ボランティア、地域包括支援センター職員などが参加しています。

この話し合いから、地域ふれあいサロンや住民主体の有料サービスなどの活動が広がっています。



協議体に参加してくれる方を募集しています

地域をより良くしていくために一緒に考えていきたいと思っ
てくださる方、協議体に参加してみませんか？
ご興味のある方はご連絡ください。

■問い合わせ先

高齢福祉課 ☎(32)8904
社会福祉協議会 ☎(43)1236